

平成 30 年 11 月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

平成 30 年(2018 年)11 月 29 日(木) 午前8時 56 分から午前9時 54 分まで

2 場 所

中央公民館 応接室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

(2)報告

ア 教育課

(ア) いじめ、不登校の状況等について

(イ) インターネット利用に関するアンケート調査結果について

4 出席者

○教育長 小 山 隆 文

○委 員

教育長職務代理者 下 村 征 子

委 員 小 林 経 明

委 員 小 林 利 佳

委 員 直 井 良 一

○その他

横関教育次長、柳沢教育課長

小林学校教育係長、土屋青少年教育係長

畑田指導主事、長岡指導主事、若林学校教育係主査

会議録

横関教育次長

ただいまから、11月定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

11月定例教育委員会の開会を宣言します。

11月は市内小中学校で人権同和教育月間に取り組んでおります。11月14日に市内小学校において3学年で人権同和教育の公開授業を行い、全教員の研修としました。私は6年生の授業を見学しましたが、子どもたちの授業に真剣に向き合う姿勢が印象的でした。

11月15日に市内中学校において行われた人権同和教育の授業参観には、社会文教委員会議員を招き、生徒の実際の様子を見ていただきました。終了後、社会文教委員会議員と校長と意見交換を行いました。今後も年に1、2回はこのような場を設け、学校現場の様子を知っていただきたいと考えています。

11月8日に信濃教育会の全県研究大会が当市で開催され、市内中学校で公開授業が開催されました。対象のクラスでは思慮に富んだ授業を展開されており、校長におかれては教員のモチベーションを高めながら授業改善に尽力されていることを大いに感じました。子どもたちを支えていくためにも、教育委員の皆様にも様々なかたちで助力を頂きたいと考えます。

身体教育科学研究所から新体力テストの分析結果が出されましたので、次回その結果をご報告します。

(1)協議(審議・検討)

小山教育長

今回は教育委員会事務局からの協議事項はありません。

続きまして、(2)報告に移ります。順次報告願います。

(2)報告

長岡指導主事

ア 教育課(ア)いじめ、不登校の状況について報告します。

平成30年度10月末現在、不登校等の児童生徒の状況及びいじめ・いじめと思われる把握件数集計表は資料のとおりです。(説明内容 非公開)

小山教育長

不登校の解消の一つの手段として、学校には分かり易い授業に気を配ってもらいたいと思っています。学力差が現れることで学校に来辛くなってしまいう児童生徒がいなくなるよう、来年度は特

に学力差が顕著に出てしまう算数・数学に特化した少人数学習を計画し、児童生徒の基礎学力の定着を図りたいと思っています。また、今回の全国学力学習状況調査の算数・数学では、ほとんどの計算問題が文章題に変わってきていることから、文章読解力をつけるためのトレーニングにも取り組み始めたいと考えています。

小林経明委員

不登校と発達障害、不登校と貧困家庭の因果関係はあるのでしょうか。

長岡指導主事

「行きづらさ」という意味で、共通する要因ではあるかもしれません。

土屋青少年教育係長

続いて（イ）インターネット利用に関するアンケート調査結果について報告します。
9月に実施しましたインターネット利用に関するアンケート調査については資料のとおりです。

（概要）

- ・対象 市内小学6年生及びその保護者
市内中学校2年生及びその保護者
- ・回収率 小学校6年生 95%、その保護者 76%
中学校2年生 88%、その保護者 58%

小山教育長

アンケート結果はどのように扱われますか。

土屋青少年教育係長

青少年教育係から家庭向けに発信している「ネットリテラシー通信」に一部データとして活用します。なお、学校向けの取り組みとしては、昨年度から取り組みを始めたインターネットのルール作りについて、引き続き実施してもらっています。

下村委員

市内小学校で行われている青少年教育係の出前講座の様子を拝見しました。その中で低学年であっても携帯電話を所持している児童が多くいました。低年齢化が進んでいるので講座の対象を小学校1年生から始めてみてはどうでしょうか。

小林経明委員

ネットリテラシー教育は早ければ早いほど理解が深まると考えます。保育園、幼稚園から始められると効果的と感じます。

土屋青少年教育係長

警察の担当者と情報交換をした際にも、幼年期へのリテラシー教育に対し、市教委と同様の課題を感じているとのことでした。

小山教育長

保育園へのネットリテラシー出前講座の提案を検討してもよい時期に来ているかもしれません。

土屋青少年教育係長

ネットリテラシー出前講座については現在小学校2、4、6学年生、と中学生、8ヶ月離乳食教室時の保護者に行っています。保育園への出前講座の実施にはどんな機会にできるのか等調整が必要となります。

小林利佳委員

若い保護者が、まるで子守をさせるように携帯電話を子どもに使わせている光景をよく目にします。とても心配ですので、保育園でのネットリテラシー出前講座を検討してください。

小山教育長

保育園では保護者参加型の参観に取り組んでいるので、そのような機会を利用することも考えられますので、子育て支援課と意見交換をしてください。

直井委員

このアンケートは、毎年対象者が変わっているので、単年データの検証ではなく、長期間で傾向を見ていく必要があると思います。

横関教育次長

アンケートなので正直に答えているかどうかの確証はないですが、SNSを使った不適切な行為が起こらないようにするために、もっと踏み込んだ内容の設問を加えてみるのも一考かと思いません。

小山教育長

アンケート結果を抜粋して、保護者と情報共有をしていただきたいと思います。青少年教育係で取り組んでいるネットリテラシー教育や相談窓口としての機能についても情報発信をしてください。議会でもたびたび話題になっていますが、まだまだ知られていないと感じます。

小林経明委員

ネットリテラシーについての取り組みは10年間続けていますが、一番重要なのはネット利用によって犯罪被害にあわないようにすることであって、この部分を共有しないと意味がありません。引き続き周知・啓発をしていきましょう。

小山教育長

本日の議題は以上です。それでは、11月定例教育委員会を閉会します。